

1. 評価結果概要表

作成日 平成22年4月4日

【評価実施概要】

事業所番号	0174300327		
法人名	有限会社 M&Y		
事業所名	グループホーム めぐみ野		
所在地	北海道釧路郡釧路町曙1丁目2番地14 (電話) 0154-37-8276		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成22年3月29日	評価確定日	平成22年4月6日

【情報提供票より】(平成22年1月31日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)15年4月1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	17人
職員数	16人	常勤	14人, 非常勤 2人, 常勤換算 14.68人

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	2階建ての	1~2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	33,000円	その他の経費(月額)	10,500~12,600円	
敷金	(有) 80,000円	無		
保証金の有無(入居一時金含む)	(有) 80,000円	有りの場合償却の有無	(有) / 無	
食材料費	朝食	420円	昼食	525円
	夕食	525円	おやつ	円
	または1日当たり		円	

(4) 利用者の概要(1月31日現在)

利用者人数	17名	男性	4名	女性	13名
要介護1	3名	要介護2	6名		
要介護3	3名	要介護4	5名		
要介護5			要支援2		
年齢	平均 83.9歳	最低	75歳	最高	95歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	釧路中央脳神経外科 島津歯科医院 釧路町訪問看護ステーション
---------	--------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

開設から7年経過しているこのホームは、利用者と職員の馴染みの関係が築かれ、日々、利用者と笑い合いながら和気あいあいと過ごしています。毎月、届けられる町内会会報誌で地域のボランティアによる地域食堂やお祭り、老人会に利用者と一緒に参加したり、地域の中高生のインターンシップやヘルパー講習の実習場所として提供し、交流を図っています。又、防災対策として運営推進会議を通じて委員より提案があり地域に向けての緊急連絡網を作成し、自動警報装置にも電話番号を登録して災害時の協力関係を築いています。昨年は初めて屈斜路湖へ泊る温泉旅行を実施するなど利用者が楽しく安心して暮らせるようなホームを目指して取り組んでいます。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では災害対策として、近隣の住民にも協力が得られる働きかけについて挙げられていましたが、今年度は地域の方々から運営推進会議の際に地域の緊急連絡網の必要性を提案され、地域に向けての緊急連絡網を作成し、自動警報装置にも電話を登録して災害時の協力関係を築いています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は自分達のケアを振り返る機会と捉え、前回の自己評価を基に職員全員で話し合い作成しています。評価結果は真摯に受け止め、改善点は職員全員で話し合い、改善に向けて取り組んでいます。又、運営推進会議の際に評価結果を報告され、ホーム内の誰でもが見られる場所に置かれています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、年6回実施されています。主な議題については 防火対策と避難体制について 利用者、職員、家族、地域との交流会 外部評価等について 医療連携体制について 調剤薬局の薬剤師による勉強会
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 毎月「めぐみ野通信」で利用者の日常の様子など詳しく伝えて、金銭管理についても毎月領収書を添付して送付しています。又、家族の面会の際に、意見や苦情を言い易い雰囲気作りを努め、家族会や運営推進会議にも家族が参加し、意見や苦情等を外部の委員に聞いて貰う機会を設けています。又、出された意見は全職員で話し合い結果を速やかに家族に報告しています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 毎月、町内会の会報誌が届けられ、地域行事への案内で地域のボランティアによる地域食堂やお祭り、老人会に職員と一緒に参加しています。又、ホーム行事の野外昼食会などに参加して載っています。地域の中高生のインターンシップやヘルパー講習の実習場所として提供し交流を図っています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設当初にスタッフ全員が話し合い、利用者が地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えるサービスとして事業所独自の理念を作り上げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者、職員は会議、引き継ぎ、カンファレンス等様々な場面で理念を話し合う機会を作り、その中で職員間で理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	毎月、届けられる町内会会報誌で地域のボランティアによる地域食堂やお祭り、老人会に利用者と一緒に参加したり、地域の中高生のインターンシップやヘルパー講習の実習場所として提供し、交流を図っている。		地域の方々から運営推進会議の際に地域の緊急連絡網の必要性を提案され、地域に向けての緊急連絡網を作成し、自動警報装置にも電話を登録して災害時の協力関係を築いています。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は自分達のケアを振り返る機会と捉え、前回の自己評価を基に職員全員で話し合い作成している。前回の評価結果は真摯に受け止め、改善点は職員全員で話し合い、改善に向けて取り組んでいる。又、運営推進会議の際に評価結果を報告され、ホーム内の誰でもが見られる場所に置かれている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は年6回開催されている。メンバーは利用者、家族、町内会長、婦人会、包括支援センター職員、町の職員及び管理者・職員で構成され、避難訓練の取り組み方や行事に参加しての感想や意見を貰いサービス向上に活かしている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>町と連携して認知症対策や介護予防などに力を入れ、「認知症サポーター養成研修」などへの協力を行い、町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。又、クリスマス会や野外昼食会等のホーム行事に包括支援センターの職員に参加して戴いている。</p>		
4. 理念を实践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月「めぐみ野通信」で利用者の日常の様子や健康・認知の状態などがよくわかるように伝えており、金銭管理についても毎月領収書を添付して送付している。又、体調の変化については都度電話連絡などで詳細に報告している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族の面会の際に、意見や苦情を言い易い雰囲気作りに努めている。家族会や運営推進会議にも家族が参加し、意見や苦情等を外部の委員に聞いて貰う機会を設けている。又、家族や利用者からの意見や苦情は全職員で話し合い結果を速やかに家族に報告している。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>管理者は職員が長期間に渡って勤められるように、労働環境を良くするように努め仕事上の悩みや相談事を極力聞くよう心掛けており、馴染みの職員と利用者の信頼関係を大切に考えている。やむなく退職する場合は、利用者へダメージがないように全体でフォローするよう心掛けています。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新入職員用の研修資料などが用意され採用時にはオリエンテーションや実地研修などが行われている。又、外部研修参加を積極的に奨励して会議で参加者からの報告を行ったり、持ち回りで職場内研修が行われるなど職員を育てる取り組みがされている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	講演会や研修会等参加時に他事業所の職員と交流が行われている。又、グループホーム協議会の交換研修や研修会などにも参加して交流を図っている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用前に本人・家族と相談しながら納得を得るまで説明しており、可能であれば短時間でもホームの生活を体験して貰い、利用者やホームの雰囲気に徐々に馴染んで貰えるように取り組んでいる。又、病院から来られる方については入院先に出向き、全職員が自主的にお見舞いに行き、馴染みの関係を築くように取り組んだケースもある。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人を介護される一方の立場におかず、畑作業や日曜大工の作業を教わったり、一緒に食事の用意をしながら調理方法や魚のさばき方などを教わり、常に感謝の言葉を伝えている。又、昔の出来事など懐かしい話を聞きながら喜怒哀楽を共にし支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>センター方式で日常生活の中での表情や会話から利用者の希望や意向の把握に努め、職員は記録や申し送りで情報を共有している。買い物、散歩、外食、畑作業、ドライブ等、本人の希望や意向を実現できるように本人本位に検討し支援している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>センター方式を活用し、利用者との日常の会話や係わりの中で本人、家族から情報を収集し介護計画に反映させている。又、課題は管理者及び、担当職員を中心に、本人や家族、職員全員の意見や希望を取り入れ現状に即した介護計画の見直しが行われている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画書に記載している個別の期間を目安に計画的に見直しが行われている。又、利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても随時、現状に即した介護計画の見直しが行われている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況に応じて通院の支援や、本人の希望や要望がある場合、買い物、散歩、気晴らしのドライブなど本人の希望が実現できるように支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用前からのかかりつけ医に継続して受診出来るように支援している。又、近くの開業医と往診可能な体制が整い医療連携も行われ、気軽に相談をしながら日常の健康管理や受診の支援がなされている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ご家族に重度化した場合や終末期のあり方について看取りを含めた医療をどこまで望まれるのかなどについてアンケートを取り健康管理書を作っている。又、医療機関と連携し利用者・家族とも早い段階から話し合い慎重に対応するよう全職員で方針を共有している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録等の個人情報の取り扱いについては、十分に注意して取り扱っている。一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した声かけや対応を心掛けており、損ねる場合があった際には対応が適切だったかを職員間で検討している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人のペースに沿って、起床や就寝時間、入浴や食事の時間など利用者の希望や思いを尊重して支援している。又、利用者のその日の体調や希望に合わせて買い物や調理の手伝いや食事の準備、後片付け、畑作業などの役割ごとの支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者のその日の体調や気分に合わせて食器拭きやテーブル拭きなどを一緒に行いながら支援している。又、好みを把握し、希望も聞いて献立を決め提供している。時には大型スーパーのレストランや野外昼食会などの外食する機会を設け、食事が楽しみなものになるよう支援している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日はある程度決まっているが最低、週に2回は入れるように利用者の希望やタイミングに合わせて対応している。又、昨年は一泊で屈斜路湖の温泉に入りに行くなど入浴を楽しめるように支援している。		
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの希望や力量、体調に合わせ、食事の準備や片付け、新聞取り、犬のエサやり、ビニールハウスでの野菜の収穫、編み物、カラオケ、タオルたたみ、外食や買い物、ドライブなど様々な役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりの体調、気分、希望に合わせてながら、午後からは日課として近所の公園に花を見に行ったり、外で飼っている犬や近所のウサギを見に行ったり、タバコやその他の買い物、庭での外気浴など積極的に外出ができるように支援されている。		日常のドライブでは、別保公園へのお花見や春採湖への散策、鶴居村へ鶴見学などに行き、昨年は屈斜路湖へ一泊の温泉旅行も実施している。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、外出を希望する利用者には常に同行し、職員が見守り、安全面に十分な配慮を心掛け実践している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	緊急時に全ての職員が速やかに対応ができるように利用者と共に実技を伴う火災避難訓練を消防署と地域の協力を得ながら年2回実施している。又、火災等の緊急時対応マニュアルと地域やホームの緊急連絡網を作成し、自動警報装置にも電話を登録している。		今後は、夜間を想定した避難訓練を実施すると共に更に運営推進会議を通じて地域の方々をお願いする役割を明確にし協働できるような取り組みを期待します。又、緊急時対応マニュアルもより詳しい内容になるように見直しを期待します。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の食事摂取量や水分量が記録されている。栄養バランスに配慮され、個人の好みも把握され食べられないものがある場合にはほかのものが提供されている。又、一人ひとりの健康状態に合わせた量や食べやすくなるような調理の工夫がなされている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間には行事の写真や季節感が感じられる飾り、利用者と職員が一緒に作った壁飾りがかかっている。足踏みミシンや古い茶筍、囲碁・将棋盤も置かれ、居間のソファには利用者が編んだ毛糸の背カバーが掛けられるなど生活感や季節感を採り入れて居心地よく過ごせるような工夫をしている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家具類は本人が使い慣れたものや馴染みの物を持ち込まれ、家族との写真や本人の趣味の作品等を飾り居心地よく過ごせる環境作りに努めている。又、仏壇を持ってきている方たちもいて、水・ご飯・御神酒・お菓子・果物などがあげられている。		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。